

3 「わかった」「できるようになった」～ねらいに即した適用問題の設定

<テーマ>学習展開や学習形態を工夫することで、個に応じた習熟を図る取組（浦谷町立浦谷第一小学校）

実践例 4年「わり算の筆算(1)－わる数が1けた－

単元計画を工夫し、特に「技能」が重視される時間において、適用問題の時間を十分確保できるよう学習展開を工夫した。また、学習形態を工夫して、個に応じて習熟できるようにすることで、「わかった」「できるようになった」という実感をもたせられると考えた。さらに、本時の学習内容や自分の学習への取組について「ふりかえり」を書かせることで、満足感や達成感をもたせられると考えた。

◎ 一単位時間の学習展開の工夫

気付く

- ・ 前時の児童の「ふりかえり」を生かし、既習事項の確認する。

向き合う

- ・ 本時の問題に対する誤答を示し、小グループで検討させてから集団解決の場で話し合わせる。

見つめる

- ・ 適用問題として、類似問題を解かせ、解き方のポイントを全員でしっかりと確認させてから、習熟問題に取り組ませる。

◎ 学習形態の工夫

- ・ 適用問題を解く（個別）
→ 終わった児童からペアを組んで答え合わせをする。（ペア）
- ・ 習熟問題を解く（個別）
→ 答え合わせが終わった児童からドリル等の習熟問題を解き、自分で答え合わせをしながら、どんどん進める。（個別）
- ・ 本時の学習について「ふりかえり」として自分の言葉で振り返る。

前時の学習内容を児童の言葉を生かして、しっかりと確認できる！

誤答の提示により、説明の必要性や説明したいという意欲が生まれ、話し合いのポイントが絞られて、短い時間で解決できる！

類似問題で本時の学習を振り返り、本時の筆算のポイントを確認できる！

ペアで誤答の検討もさせることで教え合い・学び合いの場になる！

指導者は、支援が必要な児童に対して個別指導ができる！

本時の学習内容や自分の学習の取組を確認させることで、「わかった」「できた」「がんばった」と、自分の学びを実感できる！

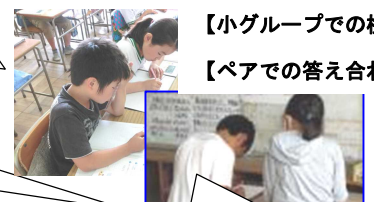
昨日の〇〇さんの「ふりかえり」に……



空位はここじゃなくて…

【小グループでの検討】

【ペアでの答え合わせ】



ひき算がちがったんだ！



【個別指導】

そうか、わかったぞ！

④ 児童の「ふりかえり」

次から、ひき算に気を付けます！

自分のペアのミスが、今はいいです！

ひき算気をつけてね♡

⑤ 今日、十の位に空位がでてきた計算をしました。十の位に空位がでたなら百の位も空位かであるのかなあと思いました。そして、ドリルまでいったのでよかったです。

たくさん問題を解けて、満足しました！

③ 今日のわり算のポイントは、空位がはじめて十のくらいの答えにな、たこと。今日ペアかく

今日のわり算の筆算のポイントは、ここだよ！

人のひ、さんをや、たとき、をかきわすれていたのてこんどは0をかきわすれないようにしたいです。

ペア学習の学び合いで気付きました！

⑥ 今日のわり算のポイントは、十の位で空位をや、たことです。

先生におしえてもらったからうれしかったです。

先生に教わって、わかったよ！